

「ゆうわプロジェクト」【箕島中学校・文成中学校・保田中学校】

9月15日(木)、有田市民会館「紀文ホール」にて、市内3中学校の1年生全員が参加して「ゆうわプロジェクト 3校合同(中間)発表会」が開催されました。

令和6年開校予定の有和中学校の開校時の3年生は、現在、市内3中学校(箕島中・文成中・保田中)の第1学年に在籍しています。この生徒たちが有和中学校開校時にスムーズに学校生活をスタートできるように、さまざまな機会に交流しています。特に、今年度の「総合的な学習の時間」には「ゆうわプロジェクト」と名付けて、同じ目標、同じ学習内容、同じ体験活動に3校で協力して取り組んでいます。

「ゆうわプロジェクト」では、「福祉」の視点から、自分の生活と地域の人々や事柄との関わりについて探究し、中学生として持続的で実現可能な有田市への貢献を考え、実践していくことを目指しています。計画では、1年間をかけて、「①福祉について知ろう」「②課題を設定しよう」「③中間発表(学級・3校合同)」「④調査・聞き取り」「⑤課題の修正、再提案」「⑥課題解決方法の提案(発表)」「⑦まとめ・振り返り」という流れで取り組んでいます。

「3校合同(中間)発表会」では、3校の全40グループから選ばれた各学級の代表8グループが発表を行いました。発表内容は、「福祉の現状、イメージ、疑問」「課題の設定、根拠」「課題解決のための手立て、計画」で構成され、「地域と私たちのつながり」「家族構成の変化」「つながりの希薄化」など、具体的な課題が提案されていました。また、発表を聞く態度も前向きで、発表に対する質疑応答も活発に行われ、これからの地域を支える中学生として頼もしく感じられました。

この「ゆうわプロジェクト」では、「福祉」についての学習、生徒たちのインタビューの相手や調査先の選定、関係機関等との調整・連絡など、中学校3校が社会福祉協議会と連携して取り組んでいます。

今後、生徒たちは、提案した課題についてさらに学習を深めるために、市内で活躍されている方々や関係する事業所等を訪問し、お話を伺う予定です。



オンラインによる「福祉の学習」(箕島中)



調べ学習(箕島中)



事前学習(保田中)



発表(箕島中)



発表(文成中)



質疑応答